



3月下旬から4月中旬、菜の花が土手を彩る荒川。全国15番目の長さで、源流は秩父市にある甲武信ヶ岳の山中からはじまります。

下流域の広々とした流れが、埼玉県民の暮らしを古くから支えてきた歴史をもち、さらに東京湾に直結する地の利から、江戸時代より物流の大動脈としても機能してきました。



遊歩道

和光富士見
パイクラス

東京外環自動車道

朝霞水門

荒川

新河岸川

朝霞

越戸川 ↓
管理組合たより 越戸川(259号)参照

和光市アーバンアクア公園

福祉の里

新倉橋

和光高校

アグリパーク

入ロクンス

入ロクンス

入ロクンス

芝宮橋

水道道路

野川公園

入ロクンス

板橋 →

白子川

荒川河川敷運動公園野球場

管理組合たより 吹上・下新倉(270号)参照

市内循環バス
白子・吹上コース

東武バス

徒歩
朝霞水門(新倉橋経由)まで
CIハイツより約4.7km(1時間5分)
和光高校バス停より約2.4km(35分)

↓新河岸川は洪水による大きな被害を起こすことから、河川改修工事が実施され、平成7年に荒川水門を完成させました。新河岸川の洪水のピークは荒川より早いことを利用して、荒川に分流して新河岸川の洪水を防ぐ効果があります。

